

## 1 学習指導と評価の改善・充実

教科「商業」は、豊かな人間性や創造性をはぐくむとともに、マーケティング能力・国際交流能力・会計活用能力・情報活用能力などビジネスの理解力と実践力を身に付けることをねらいとしている。

こうしたねらいを達成するため、学習指導に当たっては、ビジネスに関する基礎的・基本的な内容と最新の知識や技術を身に付けられるようにするとともに、地域や産業界との連携を図り、実践的・体験的学習を実施するほか、各科目における調査・研究活動などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークを活用するなどして、学習効果を高めることが大切である。

評価は、目標の実現に向けての生徒の変容や、どのような点でつまずき、それを改善するためにどのように支援していけばよいかを明らかにする側面を持つ。そのため、評価に当たっては、評価の結果によって後の指導を改善し、さらに新しい指導の成果を再度評価するという、指導に生かす評価を充実させることが大切である。

## 2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～ 指導と評価の一体化を進める取組～

### (1) 評価計画表の作成

#### ア 作成上の留意点

- (ア) 生徒一人一人の良い点や進歩の状況などを評価するため、個人内評価を工夫すること。
- (イ) 指導と評価の一体化を図るとともに、学習の結果に対して行う評価だけではなく、学習指導の過程における評価を工夫すること。
- (ウ) 日常的に、通知票や面談などを通じて、生徒や保護者に学習の評価を十分に説明し、評価を生徒や保護者と共有すること。
- (エ) 評価の方法、場面、時期などを工夫し、生徒の成長の状況を総合的に評価すること。
- (オ) 評価について教員間の共通理解を図ること。

#### イ 評価計画表の例

科 目 名	ビジネス基礎
大 単 元 名	外国人とのコミュニケーション
単 元 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際化の進展に伴い、ビジネスにおいて外国人とのコミュニケーションの機会が増加していることについて理解させるとともに、聞くこと、話すことなど、態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法を習得させる。</li> <li>・ 外国人に対して、相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えについて理解させる。</li> <li>・ 国内において外国人と接する場面を取り上げ、日常よく用いられる身近な会話に慣れ親しませるとともに、我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介するための、基礎的な知識を習得させる。</li> </ul>

評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
外国人とのコミュニケーションの評価規準		外国人とのコミュニケーションに関心を持ち、国内においてビジネスで外国人に接する場合のコミュニケーションの方法や心構え及び日常の会話について、意欲的にまとめたり確認したりしようとする。	コミュニケーションの方法やその心構えについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用して日常の会話に親しみ、外国人とのコミュニケーションの諸問題を見付けている。	コミュニケーションの方法やその心構えについて、様々な資料を活用して把握するとともに、国内において外国人と接したときの身近な会話を考え適切に表現する。	外国人とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、国内においてビジネスで外国人に接する場合のコミュニケーションの方法や心構え及び日常の会話の大切さを理解している。
「コミュニケーションの方法」 「コミュニケーションの心構え」 「日常の会話」の評価規準の具体例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションに関心を持ち、聞くこと、話すことなど態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法について、意欲的にまとめたり確認しようとする。</li> <li>・ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えに関心を持ち、相手の立場を尊重し積極的に交流するなどコミュニケーションの心構えについて、意欲的にまとめたり確認しようとする。</li> <li>・我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介することに関心を持ち、国内において外国人と接する場面を想定し、よく用いられる身近な会話の習得に意欲的に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くこと、話すことなど態度を交えた基本的な外国人とのコミュニケーションの方法について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用して国際化の進展に伴う諸問題を見付けている。</li> <li>・相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションの心構えについて、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用してコミュニケーションの諸問題を見付けている。</li> <li>・国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話について、様々な角度から考察するとともに、基礎的・基本的な知識と技術を活用してその場面や状況ごとの諸問題を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くこと、話すことなど態度を交えた基本的な外国人とのコミュニケーションの方法について、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。</li> <li>・相手の立場を尊重し積極的に交流するなど、ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えについて、様々な資料を活用して把握するとともに、その過程や結果を具体的に説明する。</li> <li>・国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話について、様々な資料を活用して把握するとともに、その場面や状況に応じて適切に聞いたり話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにおける外国人とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、聞くこと、話すことなど態度を交えた基本的なコミュニケーションの方法を理解している。</li> <li>・ビジネスにおいて外国人と円滑にコミュニケーションを行うための心構えに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、外国人に対して相手の立場を尊重し積極的に交流することの大切さを理解している。</li> <li>・我が国の日常生活の過ごし方を外国人に正しく紹介するための基礎的・基本的な知識を身に付け、国内において、外国人と接する場面でよく用いられる身近な会話の大切さを理解している。</li> </ul>
中単元	小単元	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
日常の会話	自己紹介 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において外国人と接する場面を想定し、自己紹介について、意欲的にまとめたり確認したりしようとする。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人と接する場面や状況に応じて、適切な自己紹介の方法を考えることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人と接する場面や状況を考え、適切に自己紹介をすることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人に対して自己紹介をするときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul> 【小テスト】 【ワークシート】
	電話の応対 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において外国人と接する場面を想定し、外国人に対する電話の応対について意欲的にまとめたり確認したりしようとする。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人と接する場面や状況に応じて、適切な電話応対の方法を考えることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人と接する場面や状況を考え、適切に電話の応対をすることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、外国人に対して電話の応対をするときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul> 【小テスト】 【ワークシート】
	デパートでの接客 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、デパートで外国人に接客する場面を想定し、外国人への応対について、意欲的にまとめたり確認したりしようとする。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、デパートで外国人に接客する場面を想定し、状況に応じて、適切な応対の方法を考えることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、デパートで外国人と接する場面や状況を想定し、適切に接客をすることができる。</li> </ul> 【行動観察】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において、デパートで外国人に接客するときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul> 【小テスト】 【ワークシート】
指導上の留意点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス英会話に関する実習を多く取り入れ、会話に慣れ親しむよう工夫する。</li> <li>・ジェスチャーを交えながら自分の意思を伝えることの重要性を理解させる。</li> </ul>			

【 】：評価方法を表す。 ○：単元の評価の総括の資料とすることを示す。 △：単元の評価の総括の資料としないことを示す。

(2) 観点別評価の進め方

ア ワークシートによる評価

(ア) 小单元「デパートでの接客」における評価方法の具体例

評価の観点	評価の内容
【関心・意欲・態度】	外国人への接客について、意欲的にまとめたり確認したりしようとしているかを、ワークシートへの取組の様子と記述内容から評価する。
【思考・判断】	外国人への接客について、状況に応じた適切な対応の方法を考えることができているかを、ワークシートの記述内容から評価する。
【技能・表現】	外国人への接客について、適切に外国人に対応できるかを、実習の様子とワークシートの記述内容から評価する。
【知識・理解】	外国人へ接客するときに必要な基礎的・基本的な知識を身に付けているかを、ワークシートの記述内容から評価する。

(イ) ワークシートの具体例

デパートでの接客	
	年 組 番 氏名
1	次の会話文について辞書等を使って調べてみましょう。【関心・意欲・態度】
(1)	来店した顧客への挨拶 日本語 いらっしゃいませ。 英 語 ( May I help you ? )
(2)	顧客へのアプローチ 日本語 何をおさがしでしょうか。 英 語 ( What are you looking for ? )
(3)	アプローチへの返答 日本語 セータを探しています。 英 語 ( I'm looking for a sweater. )
(4)	商品のサジェスション 日本語 かしこまりました。これはいかがですか。 英 語 ( Certainly. How about this one ? )
(5)	商品への興味 日本語 試着してもいいですか。 英 語 ( Can I try it on ? )
(6)	商品の購入の意思表示 日本語 それをください。 英 語 ( I'll take it. )
(7)	会計 日本語 1万円になります。 英 語 ( It's ten thousand yen. )
(8)	退店する顧客への挨拶 日本語 ご来店ありがとうございました。 英 語 ( Thank you for coming. )

2 1を実習しましょう。【技能・表現】

(1) 声の大きさは良かったと思いますか。

\_\_\_\_\_

(2) ジェスチャーを交えて会話ができましたか。

\_\_\_\_\_

(3) 表情豊かに会話ができましたか。

\_\_\_\_\_

3 他の生徒を観察して、状況に応じて適切に対応しているか考えてみましょう。【思考・判断】

(1) 声の大きさはどうでしたか。(良い・普通・悪い)

\_\_\_\_\_  
 どんところが良かったか(悪かったか) 具体的に書きましょう。

(2) ジェスチャーを交えていましたか。(良い・普通・悪い)

\_\_\_\_\_  
 どんところが良かったか(悪かったか) 具体的に書きましょう。

(3) 表情はどうでしたか。(良い・普通・悪い)

\_\_\_\_\_  
 どんところが良かったか(悪かったか) 具体的に書きましょう。

4 次の文を英語に直しましょう。【知識・理解】

(1) 「黒のジャケットを探しています。」  
 ( I'm looking for a black jacket. )

(2) 「2千円になります。」  
 ( It's two thousand yen. )

(3) 「ドルから円への両替をお願いします。」  
 ( I would like to exchange dollars for yen. )

イ 小テストによる評価

(ア) 小单元「自己紹介」「電話の応対」「デパートでの接客」における評価方法の具体例

小单元	「知識・理解」に関する評価の内容	評価の具体例
「自己紹介」	国内において、外国人に対して自己紹介をするときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けているかを、解答内容から評価する。	「A」と評価する場合 正答が8割以上のとき  「B」と評価する場合 正答が3割以上、8割未満のとき  「C」と評価する場合 正答が3割未満のとき
「電話の応対」	国内において、外国人に対して電話の応対をするときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けているかを、解答内容から評価する。	
「デパートでの接客」	国内において、デパートで外国人に接客をするときに必要となる基礎的・基本的な知識を身に付けているかを、解答内容から評価する。	

(1) 小テストの具体例

単元「自己紹介」

問題 次の文は自己紹介によく用いられるものです。1から5を英語に直しなさい。

1 はじめまして。  
( How do you do ? )

2 私はA B C銀行の田中二郎と申します。  
( My name is Jiro Tanaka from ABC bank. )

3 お会いできてうれしいです。  
( I'm glad to see you. )

4 名刺をお受け取り下さい。  
( Here is my business card. )

5 私は経理を担当しています。  
( I'm in charge of accounting. )

単元「電話の応対」

問題 次の文は、会社に電話がかかってきたときの様子です。問1～問5に答えなさい。

a もしもしA B会社です。  
May I speak to Mr. Tanaka, please?  
This is Mark speaking.  
He is at a meeting.

b 伝言いたしましょうか。  
Please tell him I called.  
Thank you. Good-bye.

問1 下線部 a を英語に直しなさい。  
( Hello. This is AB company. )

問2 下線部 b を英語に直しなさい。  
( Would you like to leave a message? )

問3 下線部 の意味を日本語で答えなさい。  
( 彼は会議中です )

問4 下線部 の意味を日本語で答えなさい。  
( 電話があったことを彼にお伝えください )

問5 下線部 を「そのままお待ちください」という英語に直しなさい。  
( Hold on, please. )

単元「デパートでの接客」

問題 デパートでの接客について、問1～問3に答えなさい。

問1 次の日本語を英語に直しなさい。  
(1) 何をおさがしでしょうか。( What are you looking for ? )  
(2) 化粧品売り場はあちらにあります。( The Cosmetics section is over there. )  
(3) こちらはいかがでしょうか。( How about this one ? )

問2 例に従って次の金額を英語で答えなさい。  
例 ￥100 ( one hundred yen )  
(1) ￥8,600 ( eight thousand six hundred yen )  
(2) ￥72,500 ( seventy-two thousand five hundred yen )

問3 次の売場を英語で答えなさい。  
(1) スポーツ用品売場 ( The Sports goods section )  
(2) 婦人服売場 ( The Women's clothes section )  
(3) 家具・インテリア売場 ( The Home furnishings section )

(3) 観点別評価の総括

単元ごとの観点別評価は、学習活動における具体的評価規準に照らして「十分満足できると判断される」状況(A)、「おおむね満足できると判断される」状況(B)、「努力を要すると判断される」状況(C)の3段階で行うことが考えられる。

観点別評価を総括する方法は、各学校で事前に考え方を明確にしておく必要がある。

ここでは、単元「外国人とのコミュニケーション」を取り上げ、観点別評価を総括する方法の例を表1・表2に、観点別評価を評定に総括する方法の例を表3に示す。

——— 観点別評価の総括方法（例） ———

(ア) 観点別評価の結果で、Aの数が半数以上ある場合はAとする。ただし、Cの数が半数ある場合は除く。

(イ) 観点別評価の結果で、Cの数が半数以上ある場合はCとする。ただし、Aの数が半数ある場合は除く。

(ウ) (ア)と(イ)以外及びAとCの数がともに半数ある場合はBとする。

表1 単元ごとの評価の総括例

氏名	評価の観点	単元「外国人とのコミュニケーション」												単元の総括
		コミュニケーションの方法				コミュニケーションの心構え				日常の会話				
					総括				総括				総括	
	関心・意欲・態度	A	A		A		B	A	A		A		A	A
	思考・判断			A	A		A	A	A		A		A	A
	技能・表現			B	B	B	B	B	B		C		C	B
	知識・理解				A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

行動観察、ワークシートの記述、自己評価、テスト

表2 学期・学年末の評価の総括例

氏名	評価の観点	1学期			2学期			3学期		学年末の総括	学年末の評定
		商業の学習ガイダンス	経済生活とビジネス	1学期の総括	ビジネスと流通活動	ビジネスと売買取引	2学期の総括	外国人とのコミュニケーション	3学期の総括		
	関心・意欲・態度	A	A	A	A	A	A	A	A	A	5
	思考・判断	B	B	B	A	A	A	A	A	A	
	技能・表現	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	知識・理解	A	A	A	B	B	B	A	A	A	

表3 評定への総括例

評価の組み合わせ	評定	評価の組み合わせ	評定	評価の組み合わせ	評定	評価の組み合わせ	評定	評価の組み合わせ	評定
A・A・A・A	5	A・A・B・B	4	A・A・B・C	3	A・B・C・C	2	B・C・C・C	1
A・A・A・B		A・A・A・C		A・B・B・B		B・B・B・C		C・C・C・C	
			A・A・C・C	A・C・C・C					
			A・B・B・C	B・B・B・C					
			B・B・B・B						

評定へ総括する方法については、学校における指導の重点や評価方法を踏まえ、適切な方法を定めておく必要がある。